

海藻で、海も人もすこやかに
長島町×海藻プロジェクト



解決に取り組む社会課題・実現したい未来(理想の状態)

社会課題: 水産業における漁獲量の減少によって、収益の減少⇒成り手不足⇒高齢化という負の連鎖が生じています。他にも長島町はブリ養殖日本一の生産量を誇りますが、赤潮による養殖魚の被害、餌代の高騰も水産業の課題となっています。また、町内唯一の有人離島「獅子島」における新たな産業の創出が望まれています。

実現したい未来: 本実証を通じて、漁師の新たな収入源構築により収益が多角化されていること。あわせて海の生態系回復、ひいては漁獲量の向上と地域の持続的な発展につながること。これらにより新たな産業が生まれ、物流の活性化等により、夢である獅子島架橋の実現にも寄与します。

連携企業の概要

海藻の種苗開発から陸上・海面での養殖、生産物の加工・料理開発・販売までを一気通貫で手がける、世界にも類を見ない海藻スタートアップです。これまで未確立だった30種類以上の海藻の種苗生産技術を有しており、海藻の陸上養殖を商業レベルで世界で始めて事業化させた企業です。

関連するSDGsゴール



プロジェクト概要・プロジェクトを通して実証したいこと

長島町獅子島の指定海域で、海藻の試験生産を行います。対象はミリン、トサカノリ、モズクをはじめとした複数種で、それぞれの種苗生産結果を基に海藻を選定します。試験生産を通じて対象地域で養殖に適した海藻とその最適な生育時期を実証します。

期待される成果:

- 対象海域に適した海藻と生育時期の実証
- 海藻の海面養殖による海洋環境の回復
- 漁業収益の多角化と雇用創出

事業費(寄付募集総額・主な活用方法)

- 事業費(寄付募集総額): 約1,000万円(1年目)※2年目の事業費用も募集させて頂いております。種苗生産費、海面養殖設備費、生育管理費、旅費交通費・報告書作成など

＜自治体担当者コメント＞

衰退する海面漁業の従事者の生活安定のためには新産業創出が急務となっています。町内全域の海域で磯焼けが発生しており、本実証の知見を町内全域へ広げていきたいと考えています。新産業創出により、獅子島架橋実現の足がかりとしてまいります。

＜企業担当者コメント＞

長島町はブリの養殖で有名な町ですが、近年は赤潮の影響で水産業への被害が拡大しています。ブリを収益に柱としつつ、海藻の養殖による収益の多角化で水産業の安定化を目指したいと思います。

プロジェクト後の展望

長島町を代表する新しい特産品が生まれ、水産業が活性化すること